事業推進の心　仮設労働安全新生プラン
ACCESS 陽のあたる安全文化の創造
もうよそう ヒューマンエラーの他人事　築こう 安全足場で身近なしあわせ　めざそう 安心して暮らせる 心豊かな国創り

ACCESS新聞
Alliance Cooperation of Construction Equipment & Scaffolding for Safety

Vol.176
編集・発行人　東尾　正
発行所
全国仮設安全事業協同組合本部
〒103－0001
東京都中央区日本橋小伝馬町15－18
ＴＥＬ03－3639－0641
ＦＡＸ03－3639－0640

北海道支部　〒004－0015　札幌市厚別区下野幌テクノパーク２－１－14　電話(011)899-3275　ＦＡＸ(011)899-3276
東北支部　〒980-0802　仙台市青葉区二日町13-22-407（カルコスビル４階）　電話(022)713-6051　ＦＡＸ(022)713-6052
関東支部　〒103－0001　東京都中央区日本橋小伝馬町15－18(常和小伝馬町ビル５階)　電話(03)3639-1571　ＦＡＸ(03)3639-3980
北信越支部　〒950－0911　新潟市中央区笹口3-14-2（辰巳ビル２階Ｂ号室）　電話(025)255-6210　ＦＡＸ(025)255-6211
中部支部　〒457-8535　名古屋市南区浜田町1-10　２階　電話(052)614-0701　ＦＡＸ(052)614-0705
近畿支部　〒550－0006　大阪市西区江之子島１－６－８(シャンピア阿波座1003号)　電話(06)6443-5213　ＦＡＸ(06)6443-5214
中国支部　〒730－0016　広島市中区幟町3－55(幟町ゼネラルビル６階)　電話(082)511-2051　ＦＡＸ(082)227-2720
四国支部　〒761－8071　高松市伏石町2163－21　電話(087)869-8065　ＦＡＸ(087)869-8066
九州支部　〒811－2101　福岡県糟屋郡宇美町大字宇美字古野ノ口3426-9　電話(092)957-0032　ＦＡＸ(092)957-0033
ホームページhttp://www.kasetsuanzen.or.jp/ Eメールinfo@kasetsuanzen.or.jp　各都道府県の支所へのお問い合わせは、各ブロックの支部まで連絡ください。

若者が誇りを持てる希望に満ちた明るい未来のある建設業を創生

アクセス青年部幹部・大森岡山市長座談会

建設業の担い手確保・育成に全力を

国土交通省国土政策局長などを歴任し、岡山市長に就任した大森雅夫氏。少子高齢化・人口減少の中、これまでの行政経験をフルに生かし、「未来へ躍動する桃太郎のまち岡山」を目指しています。今回、全国仮設安全事業協同組合（アクセス、小野辰雄理事長）青年部（小岸昭義会長）の有志が岡山市役所を訪問し、大森市長と座談会を開催しました。

岡山市長
大森　雅夫氏

アクセス青年部出席者

会　長　小岸　昭義（小岸興業代表取締役）
副会長　大仲　孝明（太洋リース代表取締役社長）
幹　事　一ノ瀬　和馬（一ノ瀬興業代表取締役）
幹　事　佐々　克考（佐々総業代表取締役）
幹　事　亀谷　諒（カメヤ取締役部長）
幹　事　松本　剛（旭コーポレーション代表取締役）
　　富澤　孝行（同工事本部長）

小岸昭義会長

大仲孝明副会長

一ノ瀬和馬幹事

佐々克考幹事

亀谷諒幹事

松本剛幹事

富澤孝行

技能労働者の処遇改善を

大森　この度は、全国仮設安全事業協同組合青年部との座談会を開催でき、非常に嬉しく思います。地方公共団体においても国と同様に社会インフラの整備は重要であり、それを支える建設職人の方々と直接お話することは行政としても大変参考になります。私も岡山市長として、政令市や他の地方公共団体の首長の方々と意見交換をする機会もありますので、今回のお話を伝えていければと考えております。

わたしは旧建設省・国土交通省のOBで、その経験からお話します。84兆円まで伸びていた建設投資額が、バブル崩壊により年々減少し、建設業界は厳しい時代を迎えていました。しかし、高度成長時代に建設された橋梁や公共施設の維持保全の必要性、また、そのインフラ整備を担う人材育成の重要性は認識しており、それは岡山市長となったいまでも変わりはありません。しかも、少子高齢化により人口減少は避けられず、人手不足は今後とも続くと予想されます。実際、国土交通省の最近の試算によりますと、10年後の建設技能者数は286万人で、現在よりも44万人減少する見通しです。

これは大変な状況です。建設業の担い手を確保・育成していくためには、まずは技能労働者の方々の処遇の改善を進めることが大切です。

国交省の取り組みとしては、2017年4月から、直轄工事において、加入義務のある許可業者については社会保険加入率を100％とし、労働者ベースでは、製造業相当の加入状況（雇用保険92・6％、厚生年金87・1％）の実現を目指しており、岡山市でも1次下請業者まで加入を義務付けております。また、2次下請け以降についても、もし加入していなければ、県などに通報しているところです。

真面目な会社が報われるように

小岸　アクセスは足場などのメーカー、リース・レンタルおよび材工一式の業者が集まり、特に最近は、全国から材工一式の足場会社が集い、その流れとして青年部を結成し、わたしは青年部会長を拝命し、埼玉県の小岸興業の代表を務めております。

建設職人の現状は、年収ベースでは、とびの業種では全産業と比較すると約3割低く、休みも約3割少ないです。休みも少なく、賃金も安い、これでは若い担い手を確保・育成することが大変困難な状況にあります。

わたしは担い手を確保・育成する1丁目1番地は、社会保険未加入業者を排除することにあると思っています。われわれ青年部一同は、真面目に社会保険費も福利厚生費も負担します。しかし、真面目な会社が頑張っている一方、下請けの中には、不良不適格業者も存在し、社会保険も一切負担しない会社もあり、こうした会社がダンピング（過度な安値受注）を実施し、見積もり上では、われわれが負けてしまう現状があります。このままでは、真面目に国や地方公共団体の指導に従っている業者は、馬鹿を見ます。これをなんとしても改善してほしいのです。

社会保険未加入の解決が処遇改善の1丁目1番地

安心の人生設計で担い手を確保

大森　まったくそうですね。真面目に取り組んでいる会社が損をすることはあってはならないことです。建設業においては、下請企業を中心に、年金、医療、雇用保険について、法定福利費を適正に負担しない社会保険未加入企業が存在することから、技能労働者への公的保障が確約されず、若年入職者減少の一因となっているほか、関係法令を順守して適正に法定福利費を負担する事業者ほど競争上不利になるという状況が生じています。これは由々しき問題です。

このため、建設業の持続的な発展に必要な人材の確保を図るとともに、事業者間の公平で健全な競争環境を構築するため、行政、元請企業、下請企業など関係者が一体となった保険加入徹底に向けた取り組みを今後とも強化していかなければなりません。1次下請けは加入している会社が多いと理解しています が、問題は2次以下の下請けですね。来年4月から国の指導がより徹底される中で、岡山市も取り組みを進めてまいりたいと思います。

わたしが、7年くらい前、国交省に在籍していたころは、建設業界の社会保険未加入問題の改革が可能かどうか懸念された時代でしたが、建設業界自らが改革を進めなければと同意したことで、国としてもこの問題を推進することが可能になりました。やはり、担い手確保・育成には安心して人生設計ができる環境が必要ですね。

せっかくの機会ですから、皆さんの生の声を、是非お聞かせ下さい。

選択制週休2日制度を導入

松本　群馬から参りました旭コーポレーションの松本です。問題なのは、仕事ができるようになると職人は、すぐ独立する傾向にあります。会社従業員5人以下は、社会保険は適用除外ですから、社会保険の適用を免れている現状があります。もちろん、独立するなとは申しませんし、若者の夢を奪うようなこともしたくありません。経営者としてやるべきことは何かを考えられるような方であればリーダーとしてふさわしいのですが、そうでなければ、安易に独立すべきではないと考えます。会社が生き残るためには、青年部が一致団結して、経営者としてやるべきことは何かということをしっかり考えております。ちなみに弊社は、社会保険加入は言うまでもなく、選択制週休2日制度を導入し、離職率を大幅に低下させました。

アクセス青年部が団結して成長を

佐々　岩手県山田町から参りました佐々総業の佐々です。弊社も震災で、自宅も会社も被災し、立て直そうと努力している最中です。社会保険の問題で末端の建設職人まで加入できない状況にあります。そこで、全国の地方公共団体の首長や職員の方々のご尽力でいまこそこの流れを変えてほしいと願っています。わたしも若いころは、社会保険の重要性をあまり認識してこなかったことは大変恥ずかしく思っています。しかし、青年部に加入し、こうして全国の同志と団結し、意見交換をするにあたって弊社も大きく変わらなくてはいけない、そう決意をしている次第です。

2次・3次下請にも未加入排除の拡大を

一ノ瀬　会長の小岸が申したことがすべてです。弊社でも2年前から固定給に変えて、努力はしています。弊社も下請業者に頼ることは多いのですが、社会保険に加入すると給料の手取りが削減されてしまうのです。今の若い子は、手取りですべてを見てしまうので、中には、社会保険に加入しない方が良いと考える子も少なくありません。僕らもアンケートを取ると、いまだに社会保険に加入しなくても良いと回答する会社もあり、こうした会社は入札の際に1次下請けだけではなく、2次・3次と拡大し、排除の適用範囲をぜひ広げてほしいと切にお願いします。

将来が不安な未加入会社

富澤　若い時は、社会保険について軽く考える子も多いかもしれません。しかし、自分の人生設計を俯瞰していけば、社会保険に加入しなければ必ず損をします。わたしも以前は、社会保険未加入会社に勤務していましたが、人生設計を考えるとそれは将来が不安になります。そこで私は、松本が代表をつとめる旭コーポレーションに勤務することになったのです。

社会保険、安全衛生経費の別枠計上を

亀谷　宮城県から参りましたカメヤの亀谷です。わたしどもの会社では社会保険の重要性を元請から通達を受けまして、弊社では全員加入し、随時下請けにも進めている最中です。ただ、ゼネコンやサブコンとお付き合いしている中で、社会保険料が支払われていない現状があります。支払い金額は社会保険料も込みで支払っているという言い分がお客さまからあるのですが、社会保険、安全衛生経費や福利厚生費について別枠に計上してほしいです。このまま、国交省の直轄工事で社会保険未加入を徹底することになると真面目にやっている下請会社の中には廃業や倒産の道を選択してしまう可能性があります。よろしくお願いします。

足場の仕様書に深い理解を

大仲　大阪の堺から来ました太洋リースの大仲です。わたしはリース会社ですが、わたしの仲間で高所から墜落し、この建設業界から去っていった方もおり、痛恨の極みであります。わたしも、さまざまな地方公共団体で足場の安全点検を行いましたが、非礼を承知で申し上げますが、足場の仕様書について地方公共団体の職員の方は、理解が浅い方もおります。ぜひ、お願いしたいことは、職員の方に、危険な足場と安全な足場の両方をのぼってほしいです。百聞は一見にしかずです。そこで安全な足場について、より理解が深まるでしょう。

建設業の労働災害は減少傾向にありつつも、やはり、墜落・転落災害の割合は減少しておりません。亡くなった方には、家族もおられ、深い悲しみにつつまれております。ケガと弁当は自分持ちという建設業の悪しき文化はいまでも残っています。それを単に建設職人の自助努力でなくせというのは無理があります。

その理由は、元請けと下請けの企業の力関係が違いすぎますから、下請けが元請けの方に物申すことは難しいのです。せめて岡山市の職員の方も足場の仕様書について熟知し、それを元請けに指導し、無事故・無災害を目指して下さい。

建設職人もその家族も笑って過ごせる職場環境を実現するためには、発注者の職員の方々のご協力が不可欠でございます。何卒よろしくお願いします。

安全について官民格差の是正を

小岸　いま、大仲が話しましたことについて追加します。国の工事では、「手すり先行工法」を採用し、「足場の組立、解体、変更の作業時および使用時には、常時、すべての作業床において二段手すりおよび幅木の機能を有するものを設置しなければならない」と義務付けられ、仕様書に明記され、実施されております。そのため、大森市長が国交省在任中、国会質問の中で、国交省では、「手すり先行工法を採用した現場では1件も死亡事故は発生していない」と答弁されておられました。ところが、民間工事では、「手すり先行工法」が義務付けられておりませんので、安全については官民格差が依然として残っております。

その一方、青年部は全国の現場で仮設安全監理者によるチェックリストに基づく足場の安全点検を実施しており、その中で感じることは公共工事であっても地域性があり、国の仕様書に準ずると明記しても、順守してないこともあります。そこで、岡山市でも国の仕様書を徹底し、さらに大森市長のお力で全国の地方公共団体にも呼び掛けてほしいというのが願いです。

建設工事の安全確保を徹底

大森　皆さんの思いはしっかりと受け止めました。貴重なお話大変ありがとうございます。建設職人の方々を束ね、そしてその命を守ろうという心意気に感動したところです。いま、お話にあったような足場も含め、建設工事における安全という要素は重要で、国の仕様書を順守するような指導を徹底しなければなりません。岡山市でも、建設工事における安全確保を徹底しているところです。

わたしも発注者の1人として国交省の『建設業法令遵守ガイドライン』に沿った指導などをさらに前進させたいと思います。そして官民が一体となって、建設業界の健全化に努めてまいりましょう。皆さんのような若く熱い力によって、若者が誇りを持てる希望に満ちた明るい未来のある建設業が創生されることを期待しています。

青年部一同　この度はご多忙中にもかかわらず、示唆に富んだ励ましのお言葉をいただき、誠にありがとうございます。これからもわれわれ青年部一同は、健全な建設業界の構築に努めてまいりますので、よろしくご指導のほどお願い申し上げます。